

2. 整備事業

1 産地競争力の強化を目的とする取組用

(岡山県 平成23年度)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物区分 (対象作物・畜種等名)	政策目的 ①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①							作物区分② (対象作物・畜種等名)	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						作物区分② (対象作物・畜種等名)	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
							計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	4年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率				計画時	1年後	2年後	3年後	目標値	達成率						交付金	県費	市町村費	その他				
							成果目標の具体的な実績①	成果目標の具体的な実績②	成果目標の具体的な実績②	成果目標の具体的な実績②	成果目標の具体的な実績②	成果目標の具体的な実績②	成果目標の具体的な実績②				特別格加算の取組の具体的な実績	事業費 (円)	交付金	都道府県費	市町村費	その他													
美咲町	岡山県	産地競争力の強化	産地競争力に向けた総合的推進	家畜改良増殖(肉用鶏)	生産性向上	おかやま地産の能力(飼料要求率)を5%向上	3.2000%	3.1200%	3.0500%	3.0200%	3.0195%	3.0000%	90.2%	成果目標に対して90%達成できた。												4,723,950	2,310,000	2,413,950	0	0	平成20年2月29日	種鶏の飼育データ管理(主に増体量、腹腔内脂肪量調査)及び茶殻、発酵ワカメなどの未利用資源の活用による給与管理を行うことにより、飼料要求率の改善に努めたが効果的な改善には至らなかったが、引き続き改善に努める。	種鶏の飼育データ管理(主に増体量、腹腔内脂肪量調査)及び茶殻、発酵ワカメなどの未利用資源の活用による給与管理を行うことにより、飼料要求率の改善に努めたが効果的な改善には至らなかったが、引き続き改善に努める。		
津山市	(株)アリスファ	産地競争力の強化	産地競争力強化に向けた総合的推進	飼料作物(トウモロコシ・飼料稲)	生産性向上	【飼料増産】飼料収穫面積を2.5ha以上増加	0ha	35.8ha	36.1ha	46.5ha	36.0ha	129.1%	飼料収穫・収集面積は46.5haで、地域の飼料増産に役立っている。	飼料作物(トウモロコシ・飼料稲)	生産性向上	【飼料増産】受託農家数を5戸以上増加	0戸	22戸	25戸	40戸	21戸	190.4%	受託農家数は40戸となり、労働力に役立っている。	汎用型飼料収穫機1台 自走ラップマシン1台	20,139,000	9,191,000	0	0	10,948,000	平成21年7月29日	飼料収穫収集面積、受託農家数ともに目標値を達成し、地域の粗飼料自給率の向上に貢献できた。	受託面積・農家数ともに目標を大幅に達成し、飼料自給率の向上に寄与するとともに、優良な先進事例となっている。			
美作市	勝英農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力強化に向けた総合的推進	飼料作物(稲発酵粗飼料)	生産性向上	【飼料増産】飼料収穫面積を2.5ha以上増加	0ha	28.2ha	25.1ha	27.0ha	23.0ha	117.3%	飼料収穫・収集面積は27haで、地域の飼料増産に役立っている。	飼料作物(稲発酵粗飼料)	生産性向上	【飼料増産】受託農家数を5戸以上増加	0戸	20戸	27戸	28戸	14戸	200.0%	受託農家数は28戸で、地域の労働力軽減に役立っている。	細断型収穫機(WB1020)1台 自走ラップマシン(SW1100W)1台	11,970,000	5,300,000	0	0	6,670,000	平成21年8月25日	飼料収穫収集面積、受託農家数ともに目標値を達成し、地域の粗飼料自給率の向上に貢献できた。	受託面積・農家数ともに目標を大幅に達成し、飼料自給率の向上に寄与した。			

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物区分① (対象作物・畜種等名)①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績① (対象作物・畜種等名)②	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	特別格加算の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
							計画時(平成20年)	1年後(平成21年)	2年後(平成22年)	3年後(平成23年)	目標値(平成23年)	達成率				計画時(平成20年)	1年後(平成21年)	2年後(平成22年)	3年後(平成23年)	目標値(平成23年)	達成率					交付金	県費	市町村費	その他					
総社市	三輪地区富農推進組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物(稲・醗酵粗飼料)	生産性向上	飼料収穫面積を1ha以上増加	0ha	11ha	22ha	25ha	11ha	227.2%	飼料収穫・収穫面積が計画時より25ha増加された。	飼料作物(稲・醗酵粗飼料)	生産性向上	受託農家戸数が3戸以上増加	0戸	0戸	5戸	13戸(12戸+1組合)	7戸	185.7%	受託農家戸数が計画時より13戸増加した。	-	ヤマー飼料コバインベール(5条刈、YWH1400A)1台 自走ラブマーン(SW1100W)1台 ベークリッパ(MBG1031)1台	11,802,000	4,770,000	0	1,180,000	5,852,000	平成21年8月31日	コバインベール、ラブマーン、ベークリッパを一体的に利用することで、生産効率が上がり、一定の成果が得られた。	地域の主体的な取組により、目標が達成され、本事業に則した取組がされていると評価できる。	
矢掛町	矢掛町	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物(稲・醗酵粗飼料、イソフラボン、イソフラボン、イソフラボン)	生産性向上	自給飼料(飼料作物の増産)▼事業実施地区において飼料収穫・収穫面積を1ha以上増加	20ha	35ha	37.5ha	44.7ha	27ha	352.8%	飼料収穫・収穫面積が増加された。	飼料作物(稲・醗酵粗飼料、イソフラボン、イソフラボン、イソフラボン)	生産性向上	自給飼料(飼料の増産)▼事業実施地区において受託農家戸数を20%以上増加	10戸(平成20年度)	12戸(平成21年度)	37戸(平成22年度)	43戸(平成23年度)	14戸(平成23年度)	825.0%	飼料作物の受託農家戸数が33戸増加された。	-	ヤマー飼料コバインベール(5条刈、YWH1400A)1台 自走ラブマーン(SW1100W)1台	11,209,000	4,880,000	0	6,329,000	0	平成21年9月18日	地域内の稲・醗酵粗飼料の作付け面積拡大と取組受託戸数が増加し、目標を達成できた。	地域の主体的な取組により、目標が達成され、本事業に則した取組がされていると評価できる。	
岡山市	西大寺稲わら収集組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	耕種作物(稲わら)	生産性向上	飼料収穫面積の増加	15.37ha	16.29ha	19.73ha	20.5ha	20.37ha	102.6%	稲わらの収集面積が5.13ha増加した。	耕種作物(稲わら)	生産性向上	受託農家戸数の増加	36戸	39戸	51戸	56戸	48戸	166.6%	受託農家戸数が20戸増加した。	-	カッティングロールベアラ(VC1181WXB)1台	3,412,500	1,015,000	0	304,000	2,093,500	平成21年10月6日	収集面積の増加、受託農家戸数の増加とともに達成している	自発的な取り組みを行うことにより、事業効果をさらに上げることができたと考えられる。	
津山市	全国農業協同組合岡山県本部	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	畜産【鶏卵】	生産性向上	【鶏卵】(低コスト)鶏卵1t当たり処理・加工コストを10.2%削減	15,209円/トン	-	15,523円/トン	13,517円/トン	13,659円/トン	109.1%	鶏卵処理に係わるコストが11.1%削減された。	畜産【鶏卵】	生産性向上	【鶏卵】(省力化)鶏卵1t当たり労働時間を30.6%削減	10.01時間/トン	-	9.04時間/トン	7.25時間/トン	6.95時間/トン	90.1%	鶏卵処理に係わる労働時間が27.5%削減された。	-	洗卵システム JOB-300S 一式 選別システム JOB-300S 一式	56,175,000	20,186,000	0	35,989,000	0	平成22年3月19日	処理量の増加、処理能力アップにより、単位当たりコストの低減が図られたが、労働時間は未達であったため更に削減に向けて効率化を図る。	コスト削減に積極に取り組んでおり、目標数値を概ね達成しているが、労働時間短縮に向けて今以上に効率化を図る必要がある。	

都道府県平均達成率	214.3%	総合所見	飼料作物の増産、耕種作物活用型飼料増産を成果目標とした各地区については、目標が達成され畜産における生産性向上が図られた。地どりにおける飼料要求率の削減を目標とした1地区については、概ね目標を達成できたものの、引き続き改善できるよう指導を行う。採卵鶏における低コスト化等を目標とした1地区においては労働時間の削減の目標で概ね目標を達成できたが、引き続き目標達成にむけた指導を行う。
-----------	--------	------	---

- (注) 1 別紙様式1号の2の1に準じて作成すること。
2 要領第1の1の(2)のアの(ア)から(ウ)の場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。